

わくや

令和四年

涌谷

早くコロナが
収束しますように・・・

(涌谷神社境内)

【12月会議】

議長から皆さんへ新年のご挨拶	2
議案審議(定住自立圏協定変更)	3
一般会計補正予算	4
町政をただす(一般質問)	6
常任委員会所管事務調査報告	12
新しい常任委員会構成	14
新型コロナウイルス関連予算	
<10月・11月・12月第2回会議>	14・15
輝く皆さんの声<キラキラVoice>	16

令和4年

謹んで新年のお慶びを申し上げます

涌谷町議会 議長 後藤 洋一



町民の皆さまには、穏やかな新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

今年が寅年ではありますが、寅は毛皮の模様から前身が夜空に輝く星と考えられていた存在で、「決断力と才知」の象徴としての意味もあり、縁起物としても親しまれています。

さて、本年も、収束が見えない新型コロナウイルス感染症への対策が求められることと思えます。

私自身も寅年生まれであり、本年はこれまで以上に気を引き締め、思考を巡らせながら虎のように駆け回り、一刻も早く町民の皆さまが安心して暮らせるこ

とを目標に、正しい判断をしながら、期待される議会を目指してまいりますと考えている所存であります。

結びに、町民の皆さまにとりまして、この1年が素晴らしい年になりますことを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

12月会議

令和3年12月会議は12月8日、9日の2日間の日程で開催しました。今議会では、条例3件、令和3年度各会計補正予算6件など、町長提出議案11件を原案どおり可決しました。

一般質問には5人の議員が登壇し、7項目について町政をただしました。また、議員発議として、国への意見書提出についても審議し、可決しました。

—町長から提案され、審議した議案—

提案された議案は、全て原案どおり可決しました

- 涌谷町監査委員条例の全部を改正する条例
- 涌谷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 涌谷町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 定住自立圏の形成に関する協定の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・・・3ページ
- 辺地に係る総合整備計画の変更について
- 令和3年度涌谷町一般会計補正予算（第9号）・・・・・・・・・・・・・・・・・・4ページ
- 令和3年度涌谷町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
- 令和3年度涌谷町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）
- 令和3年度涌谷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）
- 令和3年度涌谷町老人保健施設事業会計補正予算（第3号）
- 令和3年度涌谷町一般会計補正予算（第10号）・・・・・・・・・・・・・・・・・・5ページ

行政報告

○町民バス運行業務委託の契約の締結について
「仙北富士交通株式会社」

と契約金額1億3498万6500円で委託契約を締結したものと、委託期間は、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間となる。

議案審議

○涌谷町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産一時金の額を40万4千円から40万8千円に改定するもの。

○定住自立圏の形成に関する協定の変更について

平成24年度から大崎市が中心市となって大崎1市4町で「定住自立圏の形成に関する協定」を締結し、連携して事業に取り組み、平成29年度には第二次大崎定住自立圏共生ビジョンを策定してこれまで事業を推進してきた。

令和3年度が5か年計画

の最終年度となることから、関係市町で協議を行い、令和4年度から実施する事業についての協議が調ったことから、協定を変更するもの。

定住自立圏構想

地方の人口減少と少子高齢化が進む中、地方の自治体が連携して、圏域の生活基盤を確保し、魅力ある生活環境を整備することにより人口の減少を抑え、さらに大都市圏からの人の流れをつくることを目的として、平成20年12月に総務省において、定住自立圏推進要綱が制定された。

質疑

多重債務相談の内容は

問

消費生活法律相談の充実の取組内容として「多重債務等で困っている圏域内の住民に対し、仙台弁護士会と連携して多重債務等に関する消費生活法律相談を実施する」とのことだが、具体的にはどのようなものか。

答

弁護士による無料相談で、多重債務などの相談があった場合に、町の消費生活相談員が相談者をつないでいる。



消費者庁イラスト集から転載

12月 補正

<一般会計補正予算（第9号）の主な内容>

(歳入)

・新型コロナワクチン接種体制確保補助金……2058万円

(歳出)

・健康文化複合温泉施設指定管理料……450万円

・新型コロナワクチン接種関連経費……2117万円

・GIGAスクール経費……△592万円

※万円未満切り捨て

補正予算

質疑

放射能稲わらの 住民合意は

問 汚染稲わらの焼却処理委託はなぜ単年度か。すき込み処理に関して、住民合意はどうするのか。

答 令和8年度まで混焼するが、今回は国の加速化事業であり、単年度で終了である。すき込みについては説明会を実施する。

天平の湯の 経営は大丈夫か

問 地域振興公社の指定管理料の算定は、いつまでの期間分か。状況が変わると追加での支払いとなるのか。また、「コロナ禍」の中、地域振興公社の経営は大丈夫か。

答 算定は、今年度末までの見込みである。必要な場合は追加もある。現在の公社の経営は厳しい。「天平の湯」は以前の



町民の憩いの場として利用していただきたい
「わくや天平の湯」

料費の誤差については話し合いをする。

ワクチン接種の 方法はどのよう

問 3回目の新型コロナウィルスのワクチン接種について、登米市のよくな地域ごとに行う方式の検討はしていないのか。

答 都合が悪い、接種券が届かない、当日のキャンセルが多いなどの不都合があったと聴いている。コールセンター、インターネットで予約する方式を考えている。

故障したタブレットの 修理費の負担は

問 児童・生徒に貸与されているタブレットが故障などした場合、修理費用は保護者の負担になるのか。

答 故意に壊さない限り、修理については、町の経費でと考えている。

指定管理料増額の 算出基準は

問 燃料費の高騰で、指定管理料450万円

8割程度までしか来館者数が回復していない。「天平ろまん館」の入館者数は増えている。

増額の算出基準は何か。また、年度内に燃料費が余分になったときは、戻し入れを行うのか。

答 協定では、燃料単価が10パーセント以上になったときに増額することになっている。また、燃

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する「子育て世帯

**一般会計補正予算
(第10号)**



涌谷幼稚園に設置される滑り台イメージ

答 撤去する遊具は、滑り台付きの複合遊具だが、撤去した後は、滑り台を設置する。

問 涌谷幼稚園から撤去する遊具はどのようなものか。また、撤去後はどうするのか。

**幼稚園遊具撤去後は
どうするのか**

補正予算

関連記事

説明を受けたが、国の動向を見ながら今後検討し、判断していく。**(15ページに)**

答 当初、国からは5万円分はクーポン券と

問 子育て世帯臨時特別給付金について、県内の自治体で10万円の現金給付と公表している市町村があるが、当町の対応は。

答 10万円の支給は現金でするのか

質疑

臨時特別給付金に係る費用1億364万円を計上する。また、次年度以降も米価の持ち直しは難しいことから、米に頼らない農業所得を確保するため、麦・大豆・とうもろこしなどの生産者に支援を行うほか、花卉(かき)農家へ燃油高騰対策事業補助金として1665万円を支援するもの。

作付け転換補助は町の上乗せ補助か

問 作付転換営業

継続支援事業補助金は、国の事業であるが、今回は、町が上乗せ補助するの

答 県補助金への

上乗せの形もあるが、町単独でも幅広く支援し、より効果的な事業をさらに進めていく。

注) 本事業は県議会議決前のため、内容が変更される場合があります。 R3.12.9版

**～作付転換営業農継続支援事業のご案内～
(令和3年度11月補正予算案)**

新型コロナウイルス感染症の影響により主食用米の需要が減少し、米の価格が下落するなどの農業経営に影響が生じていること、また、主食用米の需要が今後も減少することを見据え、県は主食用米から大豆・麦・園芸作物・飼料作物等への作付転換・拡大を図るための生産資材・機械施設の導入支援を行います。

対象となる農業者等

- 1 生産資材費支援: 県内に在住する農業者又は県内に拠点のある農業法人等
- 2 機械・施設導入支援: 県内に在住する農業者(※)又は県内に拠点のある農業法人等 ※法人化が見込まれる農業者に限り
- 3 組織育成等支援: J A、集落組織、地域協議会、農業法人等

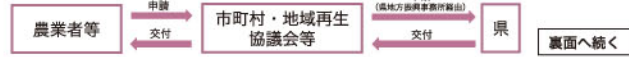
1 生産資材費支援

令和4年産における対象品目への作付転換の取組を支援(交付単価の例)

品目の例	交付単価(10a当たり)	作付転換の拡大下限面積
大豆	6,000円以内	10a
麦	31,000円以内	
露地野菜	295,000円以内	
施設野菜	186,000円以内	
花き	88,000円以内	
果樹	7,000円以内	
WCS用稲(専用品種)	11,000円以内	10a
子実用トウモロコシ		
青刈りトウモロコシ		

上記のほか、収入保険などのセーフティネットへの加入意向があることなどの要件があります。また、園芸作物は「みやび園芸特産振興戦略プラン」の重点振興品目が対象となり、飼料用米(専用品種)も対象となります。詳しくは「問い合わせ先」にご確認ください。

事業の流れ



2 機械・施設導入支援

作付転換・生産拡大に必要な機械・施設の導入経費を補助(補助率1/2以内)

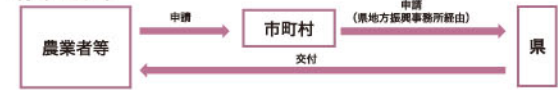
品目	R4目標拡大面積(※2)	補助上限額	想定する機械・施設の例
露地園芸	概ね20a以上	5,000千円	ポテトハーベスター、枝豆収穫機、ねぎの機械化一貫体系に資する機械等
	概ね1ha以上	15,000千円	
施設園芸	概ね10a以上	12,500千円	園芸用ハウス、パイプハウス、機械設備等
	概ね30a以上	30,000千円	
麦・大豆・飼料作物・WCS用稲	概ね5ha以上	5,000千円	汎用コンバイン、ブームスプレーヤー、播種・収穫・調製用機械装置、専用収穫パーツ等
	概ね10ha以上	15,000千円	
飼料用米(専用品種)等、低コスト化	概ね10ha以上	2,000千円	アグリテック関連機械(ドローン式、自動操舵田植機等)等
	概ね20ha以上	7,500千円	

※1 水田(地目)への作付に要する機械・施設を導入するものを対象とする。
※2 中山間地域は、面積要件を1/2とする。

3 組織育成等支援(ソフト事業)

新たな作業受託組織の設立や地域の話し合い、研修会開催、実証ほ設置(簡易な整備含む)等の取組を支援します。事業主体: J A、集落組織、地域協議会、農業法人等 補助上限: 500千円/地区(定額補助)

事業の流れ



【注意】全事業とも、原則として年度内に完了する事業が対象となります。

問い合わせ先

- 大原地方振興事務所農業振興部 TEL: 0224-53-3289
- 仙台地方振興事務所農業振興部 TEL: 022-275-9250
- 北部地方振興事務所農業振興部 TEL: 0229-91-0717
- 北部地方振興事務所栗原地域事務所農業振興部 TEL: 0228-22-2268
- 東部地方振興事務所農業振興部 TEL: 0225-95-7809
- 東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部 TEL: 0220-22-3535
- 気仙沼地方振興事務所農業振興部 TEL: 0226-24-2534

9月会議では、9月8日に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問をしました。

掲載されている質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)



ズバリ町政をただす

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問い、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木 みさ子 議員(7ページ)

- ①今後の農業対策への対応について

杉 浦 謙 一 議員(8ページ)

- ①年末に向けた暮らしと営業への支援の考えは
- ②国民健康保険税について、今後の見通しは

涌 澤 義 和 議員(9ページ)

- ①町財政再建計画と国保病院事業について
- ②町指定の災害避難施設の利用対策について

久 勉 議員(10ページ)

- ①第5次涌谷町総合計画について

佐々木 敏 雄 議員(11ページ)

- ①令和4年度の一般会計予算
及び病院事業会計予算の編成について問う

佐々木みさ子
議員



問

「米価下落」
営農継続への町の対応は

答

資金貸付、転作誘導で対応

問 米価下落に対応した
営農継続に向け、当
町ではどう取り組んでい
くのか。

町長 米価下落に伴う主
食用米を生産する
農家の影響は、町全体で4
億円強の収入減と試算して
いる。年度内に資金を必要
としている農業経営体には、
無利子で資金貸付ができる
よう予算措置を行う。

問 農業者の生産意欲の
低下や、離農を防ぐ
ための支援は。

農林振興課長 高収益作
物に転作
誘導を行う。主食用米より
収益が見込める飼料用米へ
の転換で、所得確保ができ
るよう対応したい。

問 農産物の消費、販売
促進の考えは。

町長 地場産の食材を使
用した移動販売や
インターネット販売にかかる
経費などを支援する流通確
保対策、イベントなどで販
売促進活動を実施していく。



米価下落は農家を直撃

問 地域を支えている農
業の今後の見通しは。

町長 強い農業経営体の
育成により、3千
ヘクタールを超える農地を
継承していく。

問 原油の高騰で苦しん
でいる生産者や、年
金から補ってんして米作りを
している農業者への対応は。

町長 農業者としての知
識、経験は大切な
財産である。その方々が活
躍できる場面や場所も必要
と考えている。

問 令和4年産の大幅作
付転換の町の施策は。

町長 100ヘクタール
の転作が見込まれ
る。収入確保が見込まれる
転作誘導を行う。

一般質問

杉浦謙一 議員



問

原油価格高騰対策の考えは

答

今後も国県の動向を
注視しながら検討する

問

総務省は、自治体支援策を発表しているが、福祉灯油についての考えは。

町長

生活困窮世帯への灯油購入助成は、県内4市町が実施予定（令

問

和3年11月24日現在）であるが、まだ、国からの具体的な助成額は示されていない。また、経済対策として、住民税非課税世帯に対し、10万円支給が検討されていることから、国や県の動向に注視していく。

問

民間の福祉施設や児童施設などでは、今後の暖房費が大きな負担である。町の考えは。

町長

基本的に、事業に対する公定価格に基づく収益の中で運営していただく。

問

今後も、国や県の動向、原油価格の状況を注視し、必要に応じて検討していく。

問

国保税における
子どもの均等割軽減は

答

減免する予定である

問

国保税の未就学児の均等割を5割軽減する国の制度が、来年4月から始まる。

町長

子ども・子育て支援の拡充については、当町の方針につながるものであり、国保税均等割額の減免措置を導入する予定である。

国保加入世帯では、子ども数だけ均等割が負担になるのは、子育て支援に逆行している。

国の制度に、町独自で軽減を追加することも検討したい。

来年4月から公費の負担割合を国2分の1、県4分の1、町4分の1としているが、子どもの均等割軽減についての考えは。



今後の灯油高騰が懸念されます



問

病院事業の方向転換はしないのか

答

有識者会議の答申を踏まえ
方向性を示す

問

国保病院は、救急搬送や休日診療、時間外診療の受入件数低下により、収益より経費が高い状況が継続し、そのため人件費が経営を圧迫しているとの指摘を宮城県保健福祉部長から受けた。方向転換はしないのか。

町長

持続可能な財政運営や病院事業の在り方を検討し、有識者会議の答申結果を踏まえ、方向性を示す予定である。

問

町民医療福祉センター建設から34年が経過し、時代に合った医療機器にすべきと考える。医療設備各機器の管理計画はどうなっているのか。

また、医療用酸素の供給体制や充填量、消費量についてはどうなっているのか。

センター長

医療機器の更新については、新については、危機のニーズや保守対応期限も含めて、スタッフと協議して更新計画を立て、交

付金や補助金等活用して更新している。

更新には多額の費用を要することから、計画的な更新ができずにいるが、業者等の協力により運用している。

今後も老朽化が進むことから、優先度の高い物から更新をするよう検討している。

総務管理課長

酸素の消費量は、2か月で2・5立方メートル程度である。

問

監査委員の決算意見で、透析医療の提案があつた。新しい診療科もよいとは思つが、病院として、自立が先と考えるがどうか。

センター長

透析を行う病院は、近隣では4市1町に開業している。また、旧河南町エリアに開院計画の情報もあるので、慎重に検討している。

問

旧小里小や旧箕岳小は避難所として使えるのか

答

災害時は
箕白小・箕岳公民館へ

問

旧小里小や旧箕岳小の学校は、災害時に地域の皆様に支障なく活用できるのか。

町長

現在は廃校となっているため、水道や電気が止まっている状態で使用できないことから、箕岳白山小学校と箕岳公民館に分散避難をするよう考えている。

問

さくらんぼこども園西側の林道を、避難の迂回路として活用するための検討と結果は。

町長

用地買収や搬入路整備事業を検討したが、現状の町の財政状況では厳しいと考える。

問

県道涌谷田尻線のバイパスから踏切までの歩行者通路には、安全対策として水路側に対策が必要ではないか。

町長

水路については、下水道事業において調査を行っている。安全性と利便性の向上も考慮し、早期の事業化に向けて、県道涌谷田尻線改修促進協議会を通じて県に要望している。



避難所に指定されている旧小里小学校



後期基本計画は1年前に 策定すべきだったのでは

問

答 財政再建計画を優先した

問

第5次涌谷町総合計画後期基本計画は、令和3年3月末までに策定すべきでなかったか。

以前町長は「財政非常事態宣言の対応を最優先としたため、本年度へ繰り越した」との説明であったが、非常事態宣言に見合った計画を策定すべきであったのでは。

町長

財政再建という大きな課題の中では、実現可能な計画策定は難しいとの判断で、財政運営を見定めてからということによって一年間延長した。

問

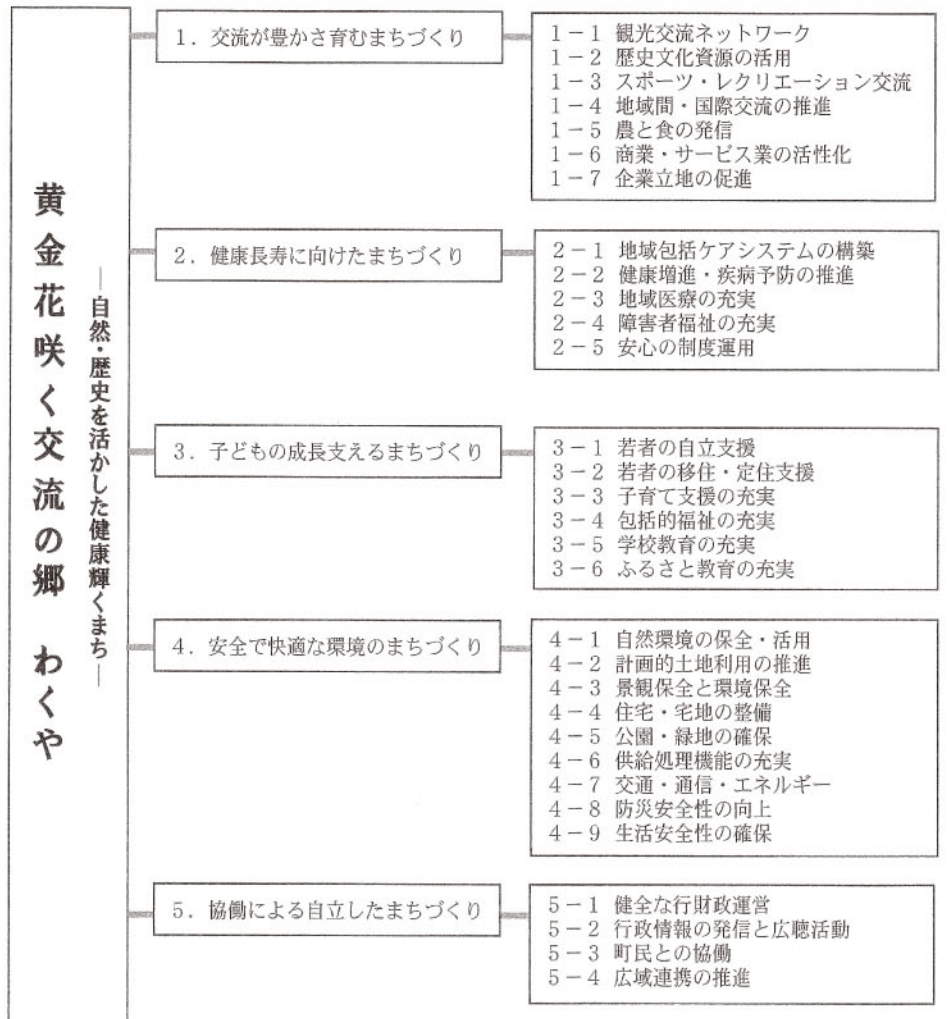
前期計画の検証は行ったのか。

町長

町長を本部長として、副町長・教育長・センター長・課長職で総合計画策定本部を設置し、班長職等で構成した作業部会で策定作業を実施している。

各課において、前期計画の進捗状況・評価などの検証を行った。前期計画の主な事業として、694項目

第5次総合計画後期基本計画の施策の体系



があり、達成、実施中が561項目、未達成項目が133項目あり、その中には、道の駅整備構想の調査実施・若者向け公営住宅建設の検討など、将来多額の費用を要することから、断念した。

問

新規項目が19項目、未達成が15項目、今回の後期計画から消えたものが4項目あった。調査や検討は、財政負担になるものでないので、残念である。15項目は、前期に引き続き計画に載せているが、過去5年間で達成できなかった。

町長

達成できるように努力する。

佐々木 敏雄
議員



問

令和4年度の予算編成は

答

次世代のための町づくりを

SDGs（エスディーゼーズ）とは、「持続可能な開発目標」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた、国際社会共通の目標。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

問 今後、町の活性化をどうけん引するのか。

町長 必要なサービスの水準を確保する。事務事業の見直しを徹底し、次世代が暮らし続けられる町づくりを進めたい。

問 コロナ後の対策や温室効果ガス対策、SDGsなど取入れるべきでは。

町長 財政再建計画の遂行と効果ある財政運営を図り、財政規律を守り必要な事業を進める。

問 医療福祉センターシステム構想も33年を経過し、制度疲労している。次の時代に向けた新たなビジョンを構築する時期と思ふ。

町長 このシステムは、将来的にも地域医療に共通な理念で、変える必要はない。

問 病院事業会計は、4億円の一時借入金返済不能が見込まれる。一般会計からの繰出金を増やす考えは。

町長 財政調整基金の残高が低水準で、税収の落込みも見込まれる。不透明な財政状況であるが、財政再建計画どおりの負担金は措置する。過去に、赤字から黒字に転換した経緯もあるので、それに期待する。

町長 今の財政状況では無理である。長期借入れを行うなど、病院で努力してほしい。

問 病院運営などの見直しを早い段階で方針

問 病院事業会計の予算編成は

答 財政再建計画に基づき編成する

問 一時借入金の返済を含む当初予算はどう組むのか。

センター長 財政再建計画に基づき、職員一丸となって努力する。

問 有識者会議で病床削減の意見があるが、その考えは。

センター長 医師の確保ができれば改善する。数年かかると思うが見守ってほしい。



健康と福祉の丘

一般質問

常任委員会所管事務調査報告

各常任委員会では、令和2年から3年までの2年間で調査した結果を、12月会議で報告しました。ここでは、報告書の主な内容をお知らせします。

総務産業建設 常任委員会

委員長

杉浦謙一

副委員長

稲葉定

委員

大友啓一

大泉治

竹中弘光

涌澤義和

調査結果及び意見

・財政健全化に向けて

財政再建計画に基づき、各団体補助金の見直し、事務経費の削減、ふるさと納税の増額等で、令和元年度の最終効果額合計が、1億9117万7千円、令和2年度で2億120万7千円と効果が表れている。今後、計画の進捗状況を調査していく。

・産業振興及び企業誘致の実現

新型コロナウイルス感染症拡大のため、企業立地セミナーの開催が中止となり、企業と接触する機会が少なくなっている。このこともあり、黄金山工業団地への企業誘致が進んでいない状況である。あらゆる情報を得ながらの取り組みに今後、も期待したい。

尾切地区において誘致企業との契約が成立した。今後、道路整備や工場建設等が進められることになる。いずれも「若者の定住化」に関わる、重要な調査テーマである。今後、注視していく。

・災害から町民の命を守る

新型コロナウイルス感染症拡大の中、災害時における避難場所での対策として3つの密（密閉空間、密集

場所、密接場面）の回避が求められる。当町では段ボール簡易ベッドや消毒液等の衛生用品を購入している。分散避難、青空避難、縁故避難などで、密にならないことが重要と考える。

・農業振興を図る

担い手の確保の課題については難しい点があるが、氏家農場や岩崎牧場などは、規模拡大や最新鋭の機械導入などを行い、順調に成長しているように見える。このような園芸作物に特化した事業により、経営体の成長と担い手確保については効果があるものと思われる。また、堆肥処理での有効な資源活用にも期待が持てる。農業従事者の高齢化で担い手の数は横ばいであるが、若干の若手が従事していることは、担当課の努力の成果と思われる。今後の事業に期待したい。

まとめ

この2年間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、町内の行事やイベントが中



令和3年11月10日に開催された遠田商工会工業部会との懇談会

止となった。それと同様に、例年実施している常任委員会の先進地視察も取りやめている。今年テーマにないが、遠田商工会工業部会との懇談を行っている。有意義な意見交換ができたと思うので、今後も交流を深めていくべきと考える。農業振興では、氏家農場や岩崎牧場などの町内現場視察はできなかったが、機会があれば実現したい。また、新型コロナウイルスによる米価下落での対策には、更に検討を求めたい。国内の新型コロナウイルスの感染状況は沈静化しているものの、来年の動向は予想できない。しばらくは「新しい生活様式」を遵守し、総務産業建設常任委員会として調査活動に取り組んでいきたい。

教育 厚生 常任委員会

委員長

鈴木 英 雅

副委員長

佐々木 敏 雄

委員

伊藤 雅 一

久 勉

佐々木 みさ子

黒澤 朗

調査結果及び意見

・財政再建計画の進捗状況について

平成31年1月30日の財政非常事態宣言からまもなく4年目を迎えようとしており、当初計画との差異も生じており、計画の見直しをすべきである。

・学力の向上について

学力テストの結果だけで、教育行政の良し悪しを判断すべきとは言えないが生徒の学力を測る指標の一つとして、学力テストの結果を公開すべきである。
GIGAスクール事業に

については、心配された先生方の操作研修も学校間での情報共有等が行われ、スムーズに学習が進んでいる。本事業に期待する。

・病院事業中期計画の進行管理について

財政非常事態宣言で、経営健全化に向け有識者で検討会を開催し、今後の病院の在り方等活発に議論されていることは評価する。

監査委員の令和元年度決算審査報告書にもあるが、病院会計の一時借入金返済を翌年度において他会計繰入金を充当し、一般会計出納閉鎖期間までに返済する処理については疑問が残る。

・介護予防と認知症対策について

要介護認定を受けた町民の数が、他市町と比較して人口の割に少ないことは健康づくり等予防活動の表れと考えられる。

認知症予防対策としては、国民健康保険の基金を活用した脳ドック等の検討をすべきである。

まとめ

福祉部門においては、新型コロナウイルス禍において、経済的に困窮する世帯へ必要な食品等を提供するなど適切なサービス提供や、地域との関係をつなぐ機会として、世帯の孤立防止を図る等の生活弱者への支援を関係機関等と連携しながら取り組んだ事は評価に値する。

生涯学習部門のみちのくGOLD浪漫観光事業において、まちづくり推進課と連携を図りながら進めているが、町民や民間の協力も得ながら事業実施する事によつて、更なる観光行政の活性化を望む。

農業集落排水事業においては、一般会計からの繰り出しが標準財政規模で比較すると、他自治体よりも高率となっており、維持管理費の縮減や使用料を見直すなど、今後の農業集落排水事業の方向性を検討していくことが必要である。

財政非常事態宣言、一般の新型コロナウイルス感染

症対応に直面し、各部門において事業に影響があったことは否めないが、今後も住みよいまちづくりのため各課適切な事業を実施していくとともに財政再建計画の推進に更なる努力を望む。



教育厚生常任委員会 所管事務調査

広報広聴 常任委員会

委員長

佐々木 みさ子

副委員長

稲葉 定

委員

議員 全員

(議長は除く)

広報分科会では、議会の審議内容や議員の活動を情

報公開することにより、町民への説明責任を果たしていくため、議会広報誌「議会だよりわくや」の編集及び発行を年4回行った。

広報分科会では、3月会議と9月会議後の年2回、各地域において、議会で議論された内容を説明し、議会活動や町政に対する意見・要望・提言などをいただく議会懇談会を開催する予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からやむなく中止することとなった。また、議会の活性化及び議員の資質向上、政策立案能力の向上を目的に研修会を行った。議会懇談会の在り方の検証と、議会力の向上を目指して、今後も継続して研修会を行っていききたい。

令和4年1月1日から委員会構成が新たになります。議員の任期である令和5年12月31日までの2年間、町民の皆さんの負託に応えるため、議員一同頑張ります。(14ページに関連記事)

令和4年1月1日から
常任委員会の構成が変わります

総務産業建設
常任委員会

教育厚生
常任委員会



委員長
大泉 治



副委員長
鈴木 英雅



委員
大友 啓一



委員
佐々木みさ子



委員
佐々木 敏雄



委員
黒澤 朗



委員長
杉浦 謙一



副委員長
稲葉 定



委員
久 勉



委員
伊藤 雅一



委員
竹中 弘光



委員
涌澤 義和

広報広聴
常任委員会

委員長 佐々木 みさ子
副委員長 佐々木 敏雄

○広報分科会

分科会長 稲葉 定

副分科会長 黒澤 朗

委員 佐々木 みさ子

委員 佐々木 敏雄

委員 竹中 弘光

委員 涌澤 義和

○広聴分科会

分科会長 鈴木 英雅

副分科会長 久 勉

委員 大友 啓一

委員 大泉 治

委員 杉浦 謙一

委員 伊藤 雅一

議会運営
委員会

委員長 大泉 治

副委員長 鈴木 英雅

委員 杉浦 謙一

委員 稲葉 定

委員 佐々木 みさ子

※後藤洋一議長は、常任委員
員会には所属しません。

10月会議

10月1日開催
10月会議

この会議では、令和3年度一般会計補正予算（第7号）を審議しました。

内容は、新型コロナウイルス感染症対応事業者支援市町村補助金を活用し、感染対策を行った事業者に対し補助金を支給する経費や学校給食センターの冷蔵庫設置の経費などを補正するもの。
賛成全員で可決

質疑

今後の支援・指導は

問 商工業では、これからはも新型コロナウイルス

ル感染症のまん延による事業への影響が、続いていくと思う。今後もちつくり推進課において、商工業者への支援・指導をするべきではないか。

答 今後、国では、第6波も懸念されていることから、状況を鑑みながら適切に対応していきたい。

補助金の申請等期限は

問 新型コロナウイルス感染症感染防止対策補助金の申込み期限と支払い期日はいつになるのか。また、町単独で補助金を上乘せすべきではないか。

答 申込み時点で備品購入済、工事は完了済で1月末までに申請し、支払いは2月末と考えている。町独自の補助は難しい。

冷蔵庫の金額は

問 給食センターに無償貸与される冷蔵庫の金額は、どれくらいするものなのか。また、今回計上された経費の用途は何か。

答 約100万円の冷蔵庫である。従来のは規格が古く、新しい規格に合わせるための改修に要する費用である。

11月25日開催
11月会議

12月21日開催
12月第2回会議

審議した主な議案
○ 新型コロナウイルス感染症対策稲作経営継続支援基金条例
○ 農業災害対策資金の利子補給事業のための基金を設置するもの。
賛成全員で可決

○ 令和3年度一般会計補正予算(第8号)
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金の事業費の減額に伴うものと先に可決された稲作経営継続支援基金に係る歳入歳出等を補正するもの。
賛成全員で可決

○ 専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定) **賛成全員で可決**
○ 令和3年度介護保険事業勘定特別会計補正予算 **賛成全員で可決**

○ 令和3年度一般会計補正予算(第11号)
子育て世帯臨時特別給付金(一括10万円)の一世帯5万円分の追加費用を補正するもの。
賛成全員で可決

質疑

交付要件は

問 交付要件には、子ども本人の所得は関係しないのか。
答 本人の所得は関係しない。

課税対象になるのか

問 交付金は課税対象か。また、所得制限と公務員世帯への交付スケジュールは。
答 課税対象にはならない。所得制限は、目安として年収960万円以下で、公務員世帯については、年明けに申請を受け付け、2月中に交付したい。

議員発議

○ 議発第5号
米の需給調整及び米価下落・稲作経営農家支援対策を求める意見書提出について **賛成全員で可決**

○ 議発第6号
沖縄戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書の提出について **賛成多数で可決**

質疑

事実に基づいた意見書なのか

問 意見書中の文言に「戦没者の遺骨を新基地の埋め立てに使用する・・・」とあるが、事実に基づいた文言なのか。そうでないとしたら、そのような文言を意見書に入れるのは不適切ではないのか。
答 まだ埋め立てが始まっていないので事実ではないが、沖縄南部の土を、基地建設の埋め立てに使用することに反対する意見書であるので、事実であるかどうかは問題ではない。

沖縄県外からの意見書はいかなものか

問 土砂使用に関しては、基地建設の問題も絡んでおり、沖縄県民の中には早急に普天間基地移転を望む人もいる。遺骨が発見された時は、中止されるものと思われることから、沖縄県外の議会が物申すのはどうかと思う。

**皆さんからの
請願・陳情**

○ 令和3年陳情第4号
件名 米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策に関する緊急要請書
陳情者 新みやぎ農業協同組合
代表理事組合長 大坪輝夫ほか1人
審査の結果 **採択**

○ 令和3年請願第2号
件名 沖縄戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書
陳情者 太田義文ほか7人
審査の結果 **採択**

○ 令和3年陳情第5号
件名 ウィグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い
陳情者 特定非営利活動法人日本ウィグル協会
会長 于田ケリム
・ 議会において配布

採決の状況 ○・・・賛成 ×・・・反対 議長は採決に加わらない

後藤洋一	議長
大友啓一	○
大泉治	×
鈴木英雅	○
杉浦謙一	○
久勉	○
伊藤雅一	○
稲葉定	○
佐々木みさ子	○
佐々木敏雄	○
竹中弘光	×
涌澤義和	○
黒澤朗	○

議会に皆さんの
ご意見をお寄せください。

キラキラ Vol.19 Voice



後藤 勝則さん(日向区)

Q あなたのことを教えてください。

A 高校教員を退職し、小中学生を中心に教えるそろばん教室と学習塾を開き、半世紀が過ぎました。地域に貢献する人材と世界に羽ばたく人材の育成を目標に活動しており、終活を考える暇がありません。また、宮城県のソフトボールの普及と技術向上を目指しています。

Q 議会についてどう思いますか。

A 熱い選挙戦の後、多くの議員さんの姿が議会だよりでしか見られません。掲げた公約を実現するため、精一杯取り組んでいただきたい。そして、1日も早く財政再建ができますように。

Q 涌谷町をどういう町にしたいですか。

A 【農業と教育でまちづくり】どこの国でも食料の自給率を高めることが最重要になっています。ITなどを導入したきれいで未来のある農業と観光客を呼べる町。また、学校、地域、家庭が一体になって、学力向上を目指す町、企業誘致で豊かな町に。

議会から この度の依頼に際して、快く引き受けていただきありがとうございます。さまざまな組織に属され、自ら行動し地域社会に貢献されていること、頭の下がる思いです。私たちも、今回指摘いただいたことを肝に銘じて、議会活動にまい進したいと思います。

議会を
傍聴しませんか

次回の定例会は
3月3日から
開催予定です。

詳しい日程と一般質問の内容は、後日ホームページでお知らせいたします。
詳しくは、議会事務局
にお問い合わせください。
☎43・2127

涌谷町議会の本会議などをパソコンやスマートフォンで見ることが出来ます。

当議会では、議会の内容を動画配信サイト「YouTube」で生配信しています。

また、各議員の一般質問の内容も動画配信していますので、左のQRコードからご覧ください。



編集するまん
だより

改選後2年が過ぎましたが、ほとんどコロナ禍の中での議会活動、広報活動となり、編集のレベルアップ研修もままなりませんでした。

1月から分科会のメンバーが入れ替えになりました、これからの2年間で、精一杯努力いたします。議会の活動について、分かりやすく周知するために工夫を凝らし、町民の皆様にご覧いただけるように精進してまいりますので、ご意見やご感想など、よろしくお願ひ申し上げます。
(稲葉)

- 編集 広報広聴常任委員会
- 分科会長 稲葉 定
- 副分科会長 黒澤 朗
- 委員 佐々木 みさ子
- 委員 佐々木 敏雄
- 委員 竹中 弘光
- 委員 涌谷 義和